

平成28年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

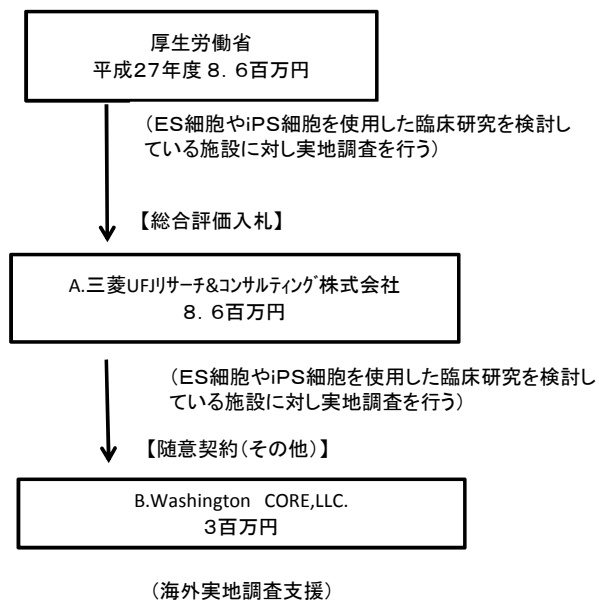
事業名	ES細胞・iPS細胞臨床研究指針対策費			担当部局庁	医政局			作成責任者			
事業開始年度	平成21年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	研究開発振興課			課長：神ノ田 昌博			
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定) 再生医療等の安全性の確保等に関する法律 (平成25年法律第85号)						
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	再生医療等を実施する機関における研究の実施状況、海外における再生医療等に係る指針等の整備状況等について調査を行い、調査結果を再生医療推進のための企画・立案に役立てることを目的とする。										
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	再生医療等を実施する全国の大学医学部、研究機関等における研究の実施状況、海外における再生医療等に係る指針等の整備状況等について委託調査を行う。										
実施方法	委託・請負										
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の状 況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
		補正予算	-	-	-	-					
		前年度から繰越し	-	-	-	-					
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-					
		予備費等	-	-	-	-					
		計	14	14	9	8	0				
	執行額		14	12	9						
	執行率(%)		100%	86%	100%						
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
	平成28年度に、国内外の再生医療研究等を実施する医療機関及び関連機関の情報等を110機関(前年度以上)把握する		実態を把握した機関等の件数		成果実績	件	108	79	109	-	-
					目標値	件	80	100	80	-	110
					達成度	%	135	79	136	-	-
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	インタビューの実施又は調査票の送付等を行った機関等の件数		活動実績	件	130	100	8	-			
			当初見込み	件	130	100	80	10			
単位当たり コスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	X / Y		単位当たり コスト	円	125,417	149,367	79,266	74,255			
	X:「執行額」 Y:「実態を把握した機関数」		計算式	X/Y	13,545,000/108	11,880,000/79	8,640,000/109	8,168,000/110			
平成28・29年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	医薬品等試験調査委託費		8								
計		8	0								

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策 施策	施策大目標8 革新的な医療技術の実用化を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること 革新的な医療技術の実用化を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること(施策目標Ⅰ－8－1)									
			測定 指標	定量的指標			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標	目標年度
								－	年度	28	年度	
				再生医療等安全性確保法において新たに届出された再生医療等提供計画(臨床研究に限る)の件数				実績値	件	－	－	集計中
				目標値	件	－	－	15	－	前年度以上		
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	再生医療等を実施する機関における研究の実施状況や海外における再生医療等に係る指針等の整備状況等について調整を行い、再生医療推進のための企画・立案に役立て、再生医療の実用化の推進を図る。											
	アクション・プログラム	経済・財政再生 アクション・プログラム	改革 項目	分野:	－		－					
				(第一 KPI 階層)	KPI (第一階層)			単位	計画開始時	27年度	28年度	中間目標
						－	年度		－	－	－	－
成果実績			－		－	－	－		－	－		
			目標値	－	－	－	－	－	－			
			達成度	%	－	－	－	－	－			
(第二 KPI 階層)			KPI (第二階層)			単位	計画開始時	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度	
							－	年度	－	－	－	－
			成果実績				－	－	－	－	－	－
			目標値	－	－	－	－	－	－			
			達成度	%	－	－	－	－	－			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
－												

事業所管部局による点検・改善									
国費投入の必要性	項 目				評 価	評価に関する説明			
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	再生医療は迅速な実用化のため、国が主体的に取り組むよう求められており、国費を投入するべき。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	再生医療は迅速な実用化のため、国が主体的に取り組むよう求められており、民間にゆだねることはできない。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	再生医療は迅速な実用化のため、国が主体的に取り組むよう求められていることから優先度が高い。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				○	総合評価入札で選定しており、妥当。			
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				無				
	競争性のない随意契約となったものはないか。				無				
	受益者との負担関係は妥当であるか。				○	当該事業の実施に必要な経費のみを予算計上している。			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				○	当該事業に必要な経費のみを対象としており妥当である。			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				－				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				○	事業内容の達成のために必要な経費のみの計上となっている。			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				－				
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				○	必要のない作業を行わないよう、事業者とは定期的に打ち合わせを行っている。			
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。				○	成果目標に見合ったものになった。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				○	国が主体的に取り組むことにより、再生医療の迅速な実用化を図ることができるため、効果的な手法である。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				△	今年度については、実地調査を中心に行ったため、活動できる件数が限られた。			
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				○	実地調査によりインタビューや調査票では把握できない情報が得られたので、再生医療の実用化に向けた政策判断に活用できた。			
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				○	類似事業では、ヒト幹細胞の情報データベースの構築、再生医療実用化研究実施拠点の整備、細胞培養加工施設の許可に係る調査、法律に基づき厚生労働省に提出された再生医療等の提供計画等の台帳管理及び検証等を実施しており、本事業とは役割が異なるため、適切な役割分担となっている。			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名						
	厚生労働省医政局	234	ヒト幹細胞情報化推進事業						
厚生労働省医政局	237	再生医療実用化研究実施拠点整備事業							
点検・改善結果	厚生労働省医政局				240	再生医療促進事業費			
	点検結果	今年度は、インタビューの実施又は調査票の送付等を行った機関等の件数が減少したが、今年度は海外における再生医療を取り巻く環境に焦点をあて実地調査等を行ったため実施できる件数が限られたためである。当該調査により、インタビューや調査票では把握できない情報が得られ、今後の政策判断に、非常に有用であった。							
	改善の方向性	調査の主体や方法を検討することでより効率良く効果的に情報収集し、再生医療の迅速な実用化に向けた企画・立案に役立てていけるよう、今後についても引き続き適切な執行に努めて参りたい。							

外部有識者の所見							
行政事業レビュー推進チームの所見							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	240	平成23年度	214	平成24年度	181		
平成25年度	208	平成26年度	221	平成27年度	230		

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社			B.Washington CORE,LLC.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	副主任研究員、研究員	4	委託費	海外実地調査支援	3
	委託費	海外実地調査	3			
	その他	旅費、一般管理費、諸謝金	1			
	計		8	計		3

支出先上位10者リスト

A.								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	3010401011971	ES細胞やiPS細胞を使用した臨床研究を検討している施設に対し実地調査を行う	8.6	総合評価入札	2	95%	-

B								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	Washington CORE,LLC.	-	海外実地調査支援	3	随意契約(その他)	-	100%	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契 約 先	法 人 番 号	業 務 概 要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-	-	-	-	-